

私はAV女優の母親
そして
息子のセックスパートナー
男優たちの巨根に
激しく突かれ、
そして息子には
さらに激しく・・・

私はAV女優の母親
そして息子のセックスパートナー
男優たちの巨根に激しく突かれ、
そして息子にはさらに激しく・・・

私は現在AV女優の仕事をしております。

昼間は会社の事務の仕事をしているこんな私が、不定期で頻繁に行われているとあるビデオメーカーのAV撮影に挑んでいることなど、従業員の方たちは気付くはずはないでしょう。

芸名でやっております。

名前は“山岡紀子（やまおかのりこ）”。

40代のわずか手前という年齢ですので、熟女の艶美な色気を売りにしています。

「あぁっ、山岡さんですか！！今度、集団レイプ物のストーリー形式のAVの仕事が入ったので、大丈夫ですか？」

「はい・・・。分かりました」

・・・・・・・・・・・・・・・・

私自身、好きでやっているかと自分に問いかけた時に、自信を持って頷ける感じではありません。

それでも、私には義務があります。

AV女優をする義務、ということではなくお金を稼ぐ義務が。

AV女優はあまり声を大にして言えることではありませんが、お金になるのです。

母子家庭のうちには一人っ子の息子、ダイチがいます。

ずいぶんと成長し、今では〇学3年生です。

ネットで全世界に配信されるAVに体を売って稼いだお金で息子を養い、私たちは生活を切り盛りしているのです。

人に見られながらお金をもらいセックスしている淫らな女。
それは事実です。
しかし、そのことは知り合いの誰にも打ち明けておりません。

ただ一人を除いて・・・。

その一人とはうちの息子です。

最も身近な存在。
だけど彼は全て知っている、いや、知ってくれているのです。
誰にも言えないこんな淫らな事実を。
言ってしまうえば、私が無茶苦茶に激しいプレイをしているのがディスプレイ越しにいつでも見られるわけです。
だからこの秘密を知られているなんて、私にとってまるでお尻の穴を覗かれているのと同じなのです。

いや、もっとも・・・。
あるいは“だからこそ”と言った方が適切でしょうか。

とにかく、それは“現実としてそう”なのです。

息子のダイチは、ディスプレイ越しでなく、実際に私のお尻の穴を、淫らに濡れた割れ目を、夜な夜な見るという現実にあります。

体験版はここまでです。

もし気に入っていただけましたら、

続きを製品版でお楽しみいただけると幸いです。